

介護保険と障害福祉の連携に関する研修会(2022.11月)

# 高齢障害者の支援および8050問題 に関する報告

大津市権利擁護サポートセンター  
(特定非営利活動法人あさがお)  
中原 一隆

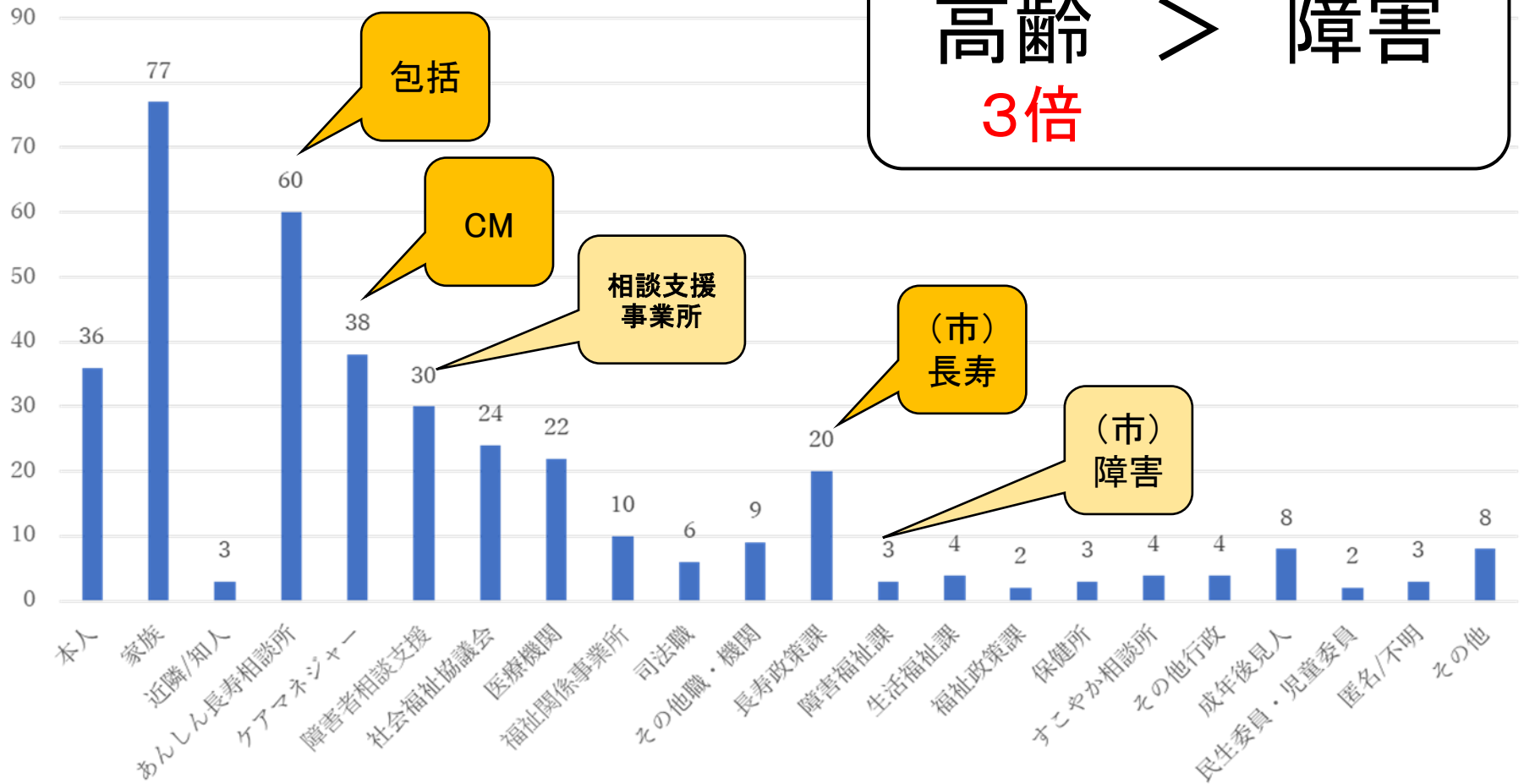


大津市権利擁護サポートセンターは  
**障害者・高齢者**が住み慣れたまちで、  
自分らしく暮らし続けることができるよう  
権利擁護に特化した総合的な支援を行う機関です。

- 権利擁護に関する専門的相談への対応
- 成年後見制度利用の支援
- 権利擁護支援のネットワーク構築
- 権利擁護の普及・啓発

# 権サポの新規相談の内訳

新規相談：相談者内訳



# 大津市の成年後見制度の利用状況

## 成年後見制度利用者(令和2年度末現在)

後見	保佐	補助	合計
497	247	100	844

## 利用者の年齢別内訳

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～65歳	65～70歳	70歳代	80歳以上	総計
10	24	70	88	34	60	159	431	876
1.1%	2.7%	8.0%	10.0%	3.9%	6.8%	18.2%	49.2%	

25.7%

74.3%

# 権サポにおける高齢障害者等の支援の現状

- ① 「親なき後」の支援の課題
- ② 8050問題における支援の課題
- ③ 医療同意・意思決定支援、居住支援

# 権サポにおける高齢障害者等の支援の現状

## ① 「親なき後」の支援の課題



※ 子の支援者がいない

※ 親としてもう少し頑張りたい

※ 親の病気や認知症状が・・・

※ 親族後見人としていつまで？

# 権サポにおける高齢障害者等の支援の現状

## ① 「親なき後」の課題

### ※ 「親なき後」や親の高齢化により発生してくる課題

- a. 成年後見制度の利用に対する親の葛藤
- b. 成年後見制度の親子同時申立ての現実

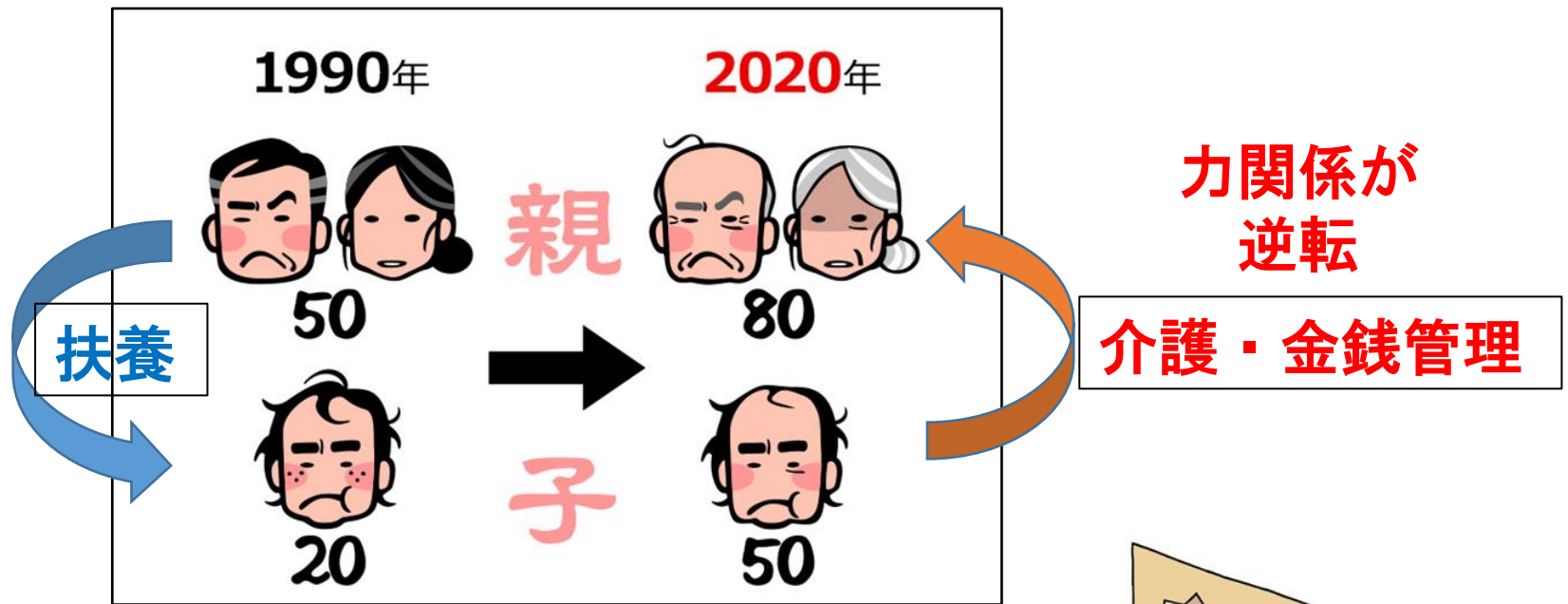
親が認知症、申立人がいない ⇒ 手続きに時間を要すことに  
市長申立を障害、高齢どちらで行うか？

- c. 親族後見人の高齢化

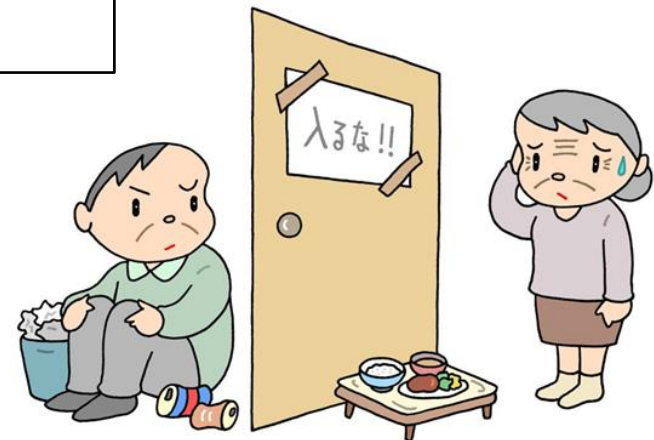
- 親が担っていた役割を各サービス提供事業所、相談支援事業所、後見人等でどのように分担するのか
- 親への「将来に対する備え」に対する早めのアプローチが必要

# 権サポにおける高齢障害者等の支援の現状

## ② 8050問題における支援の課題



※虐待の発生要因が増大  
(子⇒親) 又は (親⇒子)  
ネグレクト？経済的虐待？





# 権サポにおける高齢障害者等の支援の現状

## ② 8050問題における支援の課題

- a. 障害を持った子が、家庭を支える側  
(親の介護、生活費の負担)に変化
  - ⇒ネグレクト？経済的虐待としてみるか？
  - ⇒家族の一員(役割)としてどこまで尊重、許容するか？
- b. 支援チーム構築の難しさ
  - ⇒就労して障害サービス利用なし。介入のタイミングが・・・
  - ⇒以前は行政も把握していたが・・・親が死亡して再把握

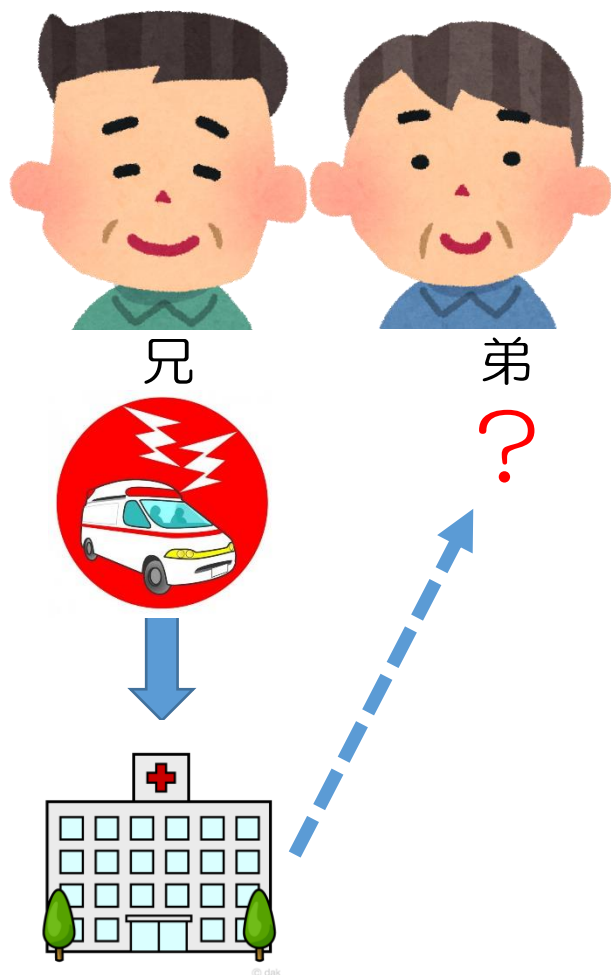
●a. 本人の権利擁護の視点に立った支援が大事

子への支援と同時に、親の支援も考える(役割分担)

●b. 地域への啓発の重要性

# 権サポにおける高齢障害者等の支援の現状

## ③ 「親なき後」 (その後) の支援の課題



※ 兄が大ヤケドで緊急入院

※ 病院から権サポに相談・・・

【入院費の滞納】

【家族の医療同意】

【今後の転院先の相談】

※ 弟、食べる物が無い、困窮

【金銭管理できない】

【生活保護申請わからない】

ADLは自立、支援が入りにくい？

# 権サポにおける高齢障害者等の支援の現状

## ③ 居住支援、医療同意・意思決定支援

- a. 高齢により、重度化した障害者の対応がしきれず、急に退所を迫られても受入先が見つからない
- b. 家を出て、一人で暮らす(ホームで暮らす)などの自立に向けた選択肢のイメージが持てない、意思形成ができない

- 支援者が身寄りのない障害者の高齢化に備え、早めの準備が必要  
どんなことが必要になってくるか、シュミレーションを
- 抱え込まず、普段からの障害・高齢支援者同士の情報交換・交流の場が大切